

JR東日本管内で初めて「駅遠隔操作システム」を導入しました

JR東日本八王子支社では、駅係員が不在時間帯における駅をご利用のお客さまの利便性を向上するとともに、ご利用状況に合わせた効率的な駅運営を目指し、支社管内の5駅に「駅遠隔操作システム」を導入しました。

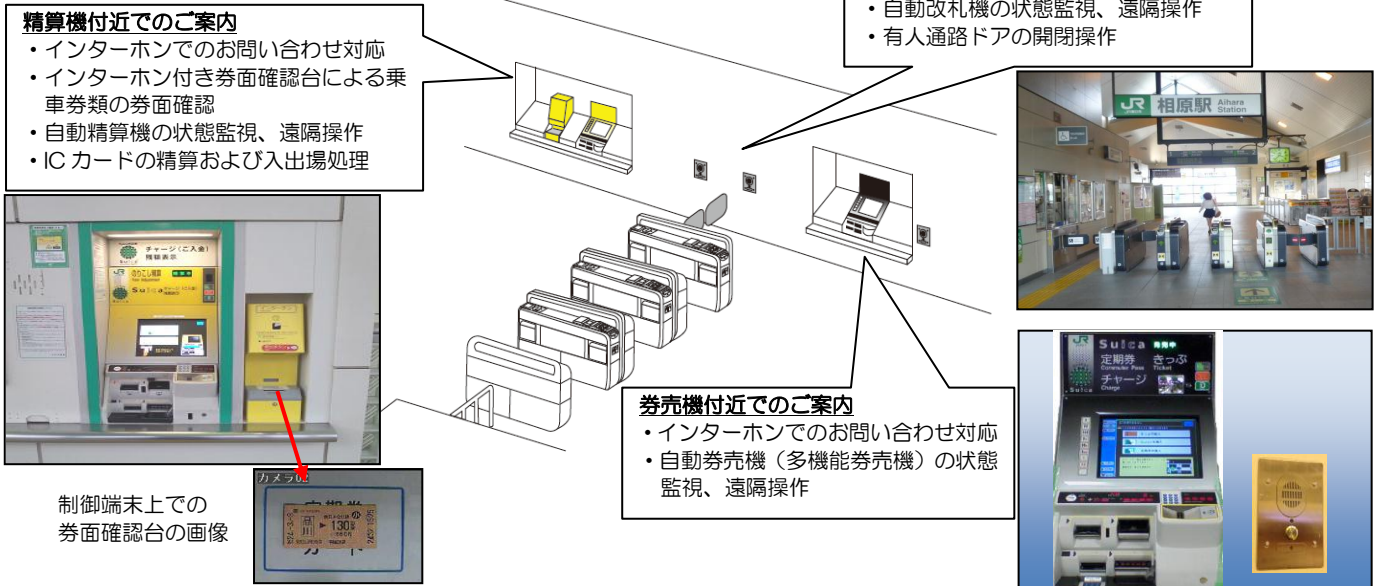
1. 導入の目的

駅係員の不在時間帯における、駅をご利用のお客さまの利便性を向上しつつ、安心してご利用いただくとともに、ご利用状況にあわせた効率的な駅の運営を目指すことを目的として導入するものである。

2. 駅遠隔操作システムの概要

- 自動券売機（多機能券売機）、自動改札機や自動精算機等の操作・監視を遠隔で行うシステムです。
- お客さまのご利用が比較的少ない早朝時間帯（始発から6～7時頃まで）を中心に導入します。
- システム稼働中も自動券売機（多機能券売機）、自動改札機や自動精算機をご利用いただけます。
- システム稼働中は改札口係員が不在となりますが、お客さまからのお問い合わせについては、新たに設置するインターホンを通じて担当の係員がお答えします。
- 自動精算機付近にはインターホン付き券面確認台を新たに設置し、担当の係員が乗車券類の券面を確認しながらご案内します。

【駅遠隔操作システム イメージ】



3. 導入日と導入駅

導入日	導入駅	制御駅
2014年2月2日（日）	片倉駅	八王子駅
	八王子みなみ野駅	
	相原駅	
2014年3月2日（日）	東所沢駅	新秋津駅
	新座駅	